

保育おおさか

No. 426

平成 23 年 2 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪市中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/>

国は違えど、 子どもたちの笑顔は同じ

— 保育海外研修

第36回保育海外研修は、1月6日～11日の6日間の日程でアメリカ・アナハイムを訪問。39人が参加し、2班に分かれて視察しました。参加者の報告を紹介します。(関連記事2面)

保育海外研修A班

UCLA(カリフォルニア大学) ウェストウッド・ チャイルドケアセンター

ロサンゼルス中心地から車で約10分、カリフォルニア大学の近くにあります。2010年9月にオープンしたばかりで、生後6週～5歳までの乳幼児を対象に、定員は最大221人。保育時間は午前6時30分～午後6時30分、入園の条件は特になく、希望により入園できます。

初めての外部委託 初めての3階建

このセンターはUCLAが初めて外部に委託したもので、世界700カ所で保育施設を運営するブライトホライズンによる運営です。南カリフォルニアでは子どもの安全を考え、通常1階に保育施設があるのですが、同センターは初めて3階に建てられました。災害時にすぐに避難できるように定期的な避難訓練を行い、乳児室には数多くのベビーカーやおんぶひもが備えつけられています。

自然光たっぷりの保育室 広々とした園庭

子どもと保育者の割合は、6週～9カ月が3対1、9カ月～18カ月が4対1、18カ月～2歳半が6対1、2歳半～5歳が11対1。入園した時に担当した保育者がそのまま5歳まで持ちあがります。

UCLA Westwood Child Care Center
Managed by Bright Horizons

特別なカリキュラムはありませんが、子どもたちの興味・関心に基づいた保育が展開され、一人ひとりの記録を毎日つけています。デイリープログラムの中に1時間のアウトドアタイムがあり、乳児用・幼児用に分けられた園庭で遊びます。遊具の下にはクッション素材のものが敷かれ安全面にも配慮されています。室内には大きな窓があり、自然光を多く取り入れ、部屋と部屋との間に窓を設けることで、コミュニケーションがとりやすい空間になっています。積み木やブロックなど、さまざまなコーナーが設けられ、自分で選んで遊べるようになっていきます。

子どもと共に成長する 保護者の意向を尊重

保護者の意向を尊重して十分に話し合い、一人ひとりの保育プログラムを作成しています。母乳を与えた場合は飲ませに來たり、昼食も弁当持参か業者の給食かを選べます。行事も親子で一緒に楽しめるものが企画され、「子どもと共に成長していきますましよう」という考えを大切にしています。

日本とアメリカ。国は違いますが、子ども一人ひとりを大切にする姿勢や、保護者との関係づくり、子どもたちの笑顔は同じだと感じました。(たんぽぽ保育園Y・S、M・M)

たんぽぽ安威保育園E・K



映画化もされた『容疑者Xの献身』で第134回直木賞を受賞した東野圭吾氏の著書『白夜行』『幻夜』はある人物の残酷な性格の形成の裏に過酷な幼少期の体験があったという小説です。

現実には昨年7月、マンションの一室で、1歳と3歳の幼い姉弟が実母により置きざりにされ、死亡するというたいへん痛ましい事件が起きました。どうして救うことができなかったのか。誰か助けてやれる人はいなかったのか。憤りを感じた方々もたくさんおられたことと思います。

昨年旅行したカナダでは、小学6年生までの子どもは、バスの中やホテルの部屋に1人で居させず、大人が必ず一緒にいないくてはならないという法律があることを添乗員さんから教わりました。一緒に同行した小学生の娘も、大人から優しく接してもらって満足顔。

日本での虐待報道を見聞きする度に、子どもたちにとって優しい国に今年こそなつてほしいと願うばかりです。

(編集委員M・K)

ロサンゼルス

西本願寺チャイルド

デイ・ホップメントセンター

リトル東京に隣接した西本願寺と同じ建物にあり、敷地内には日本庭園が設けられ、アメリカでありながら日本寺院を髣髴とさせる環境です。

当センターは開園32年目の浄土真宗の教えに基づく施設で、設立当初の目的は、保育プログラムの提供によるコミュニティニーズを満

たすことでした。

**個性を大切に
必要な環境を提供**

2歳9カ月～6歳までの45人が在籍。15人～16人の子どもに対し2人の保育士が担当します。月曜～金曜の週5日間、午前7時～午後6時までの保育で、3・4歳児は保護者が自由な時間に送迎することが出来ます。子どもの自主・自力・個性を大切に、子どもたちの発達に必要な環境を提供する実践的な保育がされていました。



日除けのあるかわいい園庭



保育園に通う子どもたちと

**自発的に遊べる
明るい空間**

ロサンゼルスは、晴れの日が多く紫外線が強いいため、園庭に日除けを付けたり、芝生を植えるなどの工夫がされていました。木や草花もたくさん植えられ、環境も整えられています。

年齢別3クラスの編成で、室内は明るく、5～6に区分されたコーナーごとに自発的に遊び、コミュニケーションや人への思いやりが育つように工夫されていました。

5・6歳児にはテーブルとイスで作業できるエリアを広く用意し、小学校就学の準備として、読み書き・計算や対話を大切にされていました。また3歳～6歳まで、音楽の時間が別に設

けられ、楽しい雰囲気の中で音の高低を体感するプログラムを実践されています。

**家庭に伝える
子どもたちの育つ姿**

遠足、ニューイヤードイナ、音楽リサイタル、お盆や彼岸、花まつり、ハロウィーンなどの年間行事があります。室内に写真や手紙を掲示して、行事での子どもの様子や家庭に伝えていきます。

文化の違いはあっても、楽しそうに遊ぶ姿、日本の歌を歌って送り出してくれた子どもたちの笑顔は、世界共通で、大切にしなければならぬと強く心に刻みました。

(堺めぐみ保育園K・S、ゆめの子保育園A・T・M・K)



21人のB班の皆さん

制度が変わろうとも 保育に対する姿勢は同じ

—永野部会長

保育部会臨時総会・新年互礼会



花田英子さん

て新システムについて触れ、「現行の保育制度は制度疲労を起こしていて、保育ニーズに対応できていないことがある。数カ月後には新たな制度の形ができるが、制度が変わろうとも私たちの保育に対する姿勢は同じ」と述べられました。

その後、「スマイルサポート」の認定証交付式が行われ、あおぞら保育園(羽曳野市)の花田英子さんが代表で受領されました。今後のご活躍を期待いたします。

正」が議案としてあげられ、異議なく承認されました。

新年互礼会では、来賓として大阪府議会議員の若林まさお議員、奥田康司議員、土師幸平議員、浦野靖人議員のほか、大阪府、堺市、高槻市、東大阪市の方々にもご臨席をいただきました。

開会挨拶で永野治男部会長は、「子ども・子育て

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 保育部会
臨時総会・新年互礼会



126人が認定を受ける

今しかできないこと 今だからできること

木の温もりと明るい日ざし
落ち着ける安心の空間

豊中市

あけぼのぶんぶん



かわいい園舎



親睦を深める保護者

「今しかできないこと、
今だからできること」と保
育理念の中にうたわれている
子どもたちの「今」を見
逃さず、たくさんの愛情で
子どもたちを包みこんで保
育されることでしょう。
(編集委員 M・H)

道路を挟んだ筋向いに小
さな「八幡宮」があり、毎
年七五三のお参りをされて

一人ひとりの個性を大切
にし、能力を最大限に伸ば
すために、「しつけ」「集中
力」「知的教育」「体力づく
り」の向上に全力で取り組
み、幼児教育の研究・実践
を職員一丸となり進めてお
られます。

「ボディペインティング」
年間行事の一つに、夏の

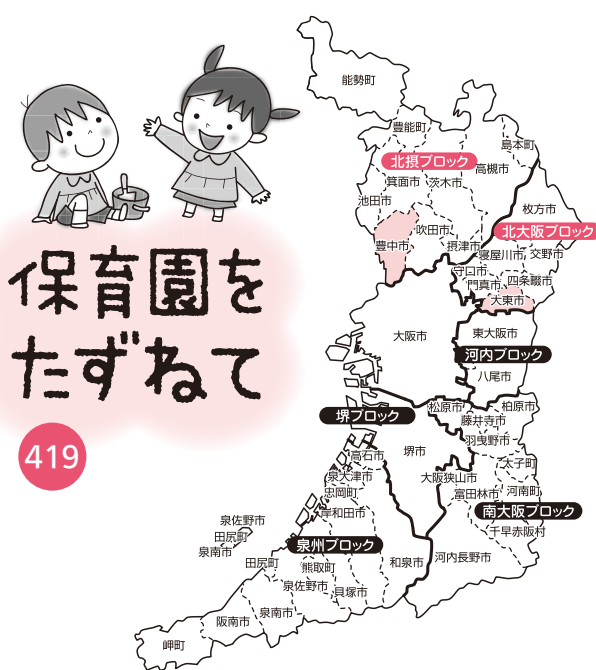
恒例行事ボディペインティ
ング」



夏の恒例行事ボディペインティング

(編集委員 J・H)

社会福祉法人あけぼの
ぶんぶんは、阪急電車曽根
駅からほど近い場所に位置
する定員20人の施設です。
建物の外観はカフェ風
で、室内は木の温もりと暖
かい陽ざしに包まれ、落ち
着けるお家のような「安心
の空間」です。環境に配慮
した自然塗料のミルクペイ
ントを使用されています。
クラスは現在、0歳児9
人と1歳児15人です。生後
5カ月〜満2歳の子どもた
ちが、年齢別のフロアーで
生活しています。一人ひと
りの睡眠リズムを保障する
ロフトスペースがあり、生
活の中のメリハリをつけて
おられます。
できる限り家庭と近い環
境で保育されています。毎
年5月に「親子の集い」を開
き、日ごろ子どもたちが楽
しんでいる遊びと一緒にし
たり、おやつを食べたりし
て、保護者同士の情報交換
職員との親睦を深めます。
0歳児・1歳児の低年齢
施設だからこそ、保護者と
の関係づくりを大切に考
え、何気ない悩みも相談し
合い、親も安心できる場を
提供されています。親同士
の親睦とコミュニケーション
を深めることで、ほかの
子どもにも温かい眼差しを
向けることができます。
行事には、保護者が積極
的に参加します。子育てに
協力する父親同士のチーム
ワークも抜群です。



保育園を
たずねて

419



千姫



七五三のお参り

しつけ・集中力・体力づくり
個性を大切に能力伸ばす

ボディペインティングや
日本の伝統芸能も行事に取り入れ

大東市

大東若竹保育園

親・子・孫三代通園する人も やさしさ、いたわりの心育て

幼保一元の先駆的取り組み
待機児童解消に大きな役割

八尾市

志紀保育園



広びろとした園舎



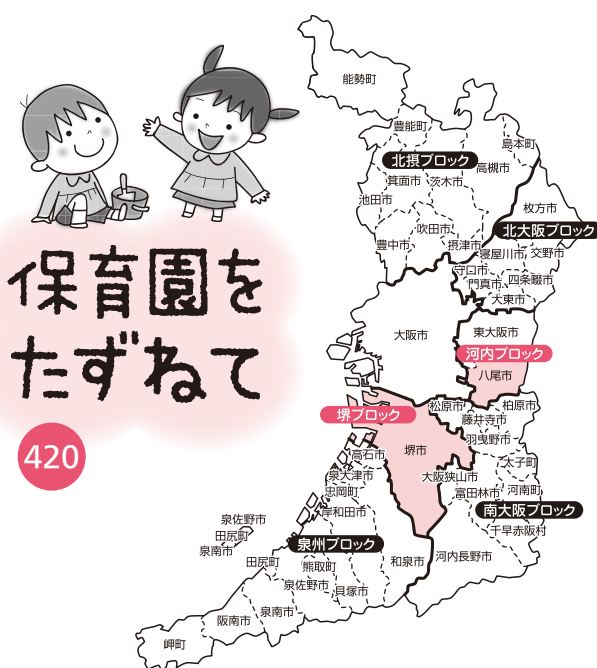
子どもたちを馬車で送迎

八尾市の南西部「JR大和路線志紀駅」が最寄。昭和29年9月創立、55年の歴史ある保育園です。開園当初は、先代の園長先生自らが馬車で子どもたちの送迎をされていたそうです。「二人ひとりにしっかりと教育をつけてあげたい、そして夢をもって未来に進める力を育みたい」を理念に、日々の保育を実践してこられました。親・子・孫三代にわたって通園されている方々も多く、卒園児で現在保育士として勤務されている方も3人いらっしゃいます。当初3〜5歳児の保育が中心でしたが、姉妹園の志紀学園幼稚園と連携しながら、幼保一元に先駆的に取り組み、3年前からは2歳児保育も展開。もう一つの姉妹園である若竹保育園（0〜2歳児）と共に、地域の待機児童解消に大きな役割を担われています。

虹をかたどった門をくぐったところにあるアンパンマンの遊具が置かれた楽しいそんな園庭は2・3歳児中心、園舎を挟んだ西側の園庭は4歳児・5歳児中心というようにコンビネーションを考えられており、双方から元気な声が聞こえてきます。

遊びを通じて生活のルールや躾を覚え、縦割り保育の中で培われる「やさしさ、いたわり」などの心育て、一人ひとりが楽しくチャレンジすることで夢が叶い、友だちと力を合わせた活動によって達成感から自信へとつなげる…など日々の保育に研鑽・努力されています。市民スポーツ祭のマーチングへの参加も、4・5歳児がいきいきと取り組む活動の一つです。

（編集委員S・S）



堺市

市から委託を受けた公設民営の保育所で、幼保連携の認定こども園です。0歳児〜3歳児までの45人を保育しています。

歴史的遺産の百舌鳥古墳群に囲まれた地域にあり、ふとん太鼓で有名な百舌鳥八幡宮に隣接した自然豊かな環境にあります。

乳幼児期の豊かな体験を通して自我の形成を図り、生きる力の基礎を育むことを目指し、①心身の調和のとれた発育を促す ②いたわり助け合う心を大切にす

③自然を愛する心を育てる



みんなで仲良く記念撮影



何ができるのかな？

一人ひとりが発達過程に沿って自主的に回りの環境に関わっていく生活をされています。食育にも力を入れ、野菜の種まきから収穫までを体験した子どもたちは、育てた野菜を給食やおやつでいただき、食べもののへの感謝と食べる喜びを育みます。就園前の地域の子どもたちを対象に「もずっ子広場」を、幼稚園や保護者、地域の方々と開き、園庭を使っ

乳幼児期の豊かな体験から 生きる力の基礎を育む

子育て支援の「もずっ子広場」
地域コミュニティの場に

堺市

堺市立こども園保育所

「ふれあいフェスタ」にはボランティアの中学生も参加し、「虫かご作り」「押し花」「紙すき」「染物」など、日ごろ体験できない遊びを通して世代を超えた交流を親子で楽しんでいます。保育所が、これからも地域との関わりを強め、人間関係の大切さを子どもたち自身が感じ、作り出していくコミュニティの場であり続けるよう努力していききたいとのことでした。

（編集委員T・S）



上手にのぼれたね

「保育園に男性がいてくれて良かった」と言っていただけでいいからこの仕事をを選んで良かったと思います。

男性保育士の保育士全体に占める割合が少なく、社会的にもまだまだ珍しかった新任のころ、研修などに参加しても、会場に男性が自分一人ということも多く、「自分の居場所はどこでいいのか、選んだ道は正しかったのか」と苦悩の日でした。保育現場で働いて

いる方や保育士を目指している方の中にも、同じ悩みを抱えている方は少なからずいらっしゃると思いますが、保育現場での経験を積んで行くうちに、男性ならではの視点を保育に活かすことができるようになってきました。先輩保育士や保護者、地域の方々にも「保育園に男性がいてくれて良かった」と言っていただけでいいからこの仕事を

おおぞら保育園 貝塚市

「男性がいてくれて良かった」と言ってもらえるよう
保育に新しい風吹かせたい

根来 聡さん



男性保育士がいる 保育園

がんばる男性保育士の声と園長先生のコメントを紹介します

高鷲保育園 羽曳野市

成長する子どもの姿に気づく
保育士という仕事のやりがい

中村 敬太さん

中学生のころからの「子どもと関わる仕事がしたい」という思いが叶い、保育園に就職した保育士1年生です。2歳児クラスの担任になったものの、右も左もわからず、初めてのことでばかりで大変でしたが、子どもたちと遊ぶ時は、どんなに忙しくても全力で遊びました。子どもたちの嬉しそうな笑顔を見ると、自分

も嬉しくなり、疲れが消えていくのを感じました。色々な行事を通して、子どもたちと日々接してきた中で、笑いあったり、励ましあったり…。子どもたちと真つすぐに関わり続け、年が明けて1月になりました。ふと子どもたちの姿を見ると「リズムが上手になつてきて、体力もついてきたな」「ご飯をこぼさず上

は「大きな家庭・大きな家族」です。必然的に男性保育士の役割は大切なものとなります。経験豊かな保育士たちの中で、今年度より主任の立場で保育に携わっています。

木をつるでブランコを作ったり、器械体操の経験を活かしたり、保育の幅を広げ、子どもたちの自信を導き出してくれています。

（園長から）

誰よりも早く出勤し、爽やかな挨拶と笑顔で子どもたちや保護者の方々を迎え入れてくれます。当園のイメージ・テーマ

手に食べられるようになったな」と、成長した姿を見ると、とても嬉しくなります。最初は気づかなかった小さな変化、子どもの成長に気づけた時、「これが保育士という仕事のやりがいであり、素晴らしいところだ！」と感じました。

子どもたちとともに、これからも成長していき、立派な男性保育士になれるよう頑張っていきたいです。

（園長から）

当園で今年度採用した中村保育士は、2歳児を担当しています。経験豊かな先輩保育士や同僚の保育士と保育計画、実践の討議を重ねながら、日々真剣に学ん



何ができるのかな？

【事務局からのお知らせ】

2月14日（月）、平成22年度「社会福祉施設経営者協議会近畿ブロックセミナー」が開催されます。以下詳細。

- ・メインテーマ 「社会福祉が抱える課題と未来への展望」
- ・主催 近畿各府県社会福祉施設経営者協議会
- ・時間 午後1時～5時30分
- ・会場 ホテル大阪ペイタワー

セミナーでは、基調講演、分科会が行われます。現在、国で保育制度改革について議論されている中、第4分科会では、「子ども・子育て新システムの展望」（仮題）と題し、吉田正幸氏（有限会社 遊育代表取締役兼発行人）が講演。多数のご参加をお待ちしています。

なお、詳細につきましてはすでにFAXでお送りしております。お問い合わせは事務局まで。

TEL:06-6762-9001 (担当/岡山)

南大阪

取り組みの交流で
指導のあり方考える

— 主任保育士研修会

羽曳野市のリックはびき
ので開催された南大阪ブ
ロック「主任保育士研修会」
は、講義スタイルの研修で

はなく、主任同士が日々の
仕事における困ったことや
悩みごとを話し合う意見交
換研修会。近隣の園が同じ
グループにならないように
6〜7人のグループに分か
れ、各テーブルにはキーキ
とお茶も用意されて、終始
和気藹々とした雰囲気です。
滑に意見交換ができました。



伊藤園長先生

グループディスカッショ
ンでは、指導的立場として
の課題や、行事などについ
て話し合いました。新人の
指導で世代のギャップを感
じたり、なかなか思いが通
じないといった悩みや日ご
ろの問題事案が次々と持ち
あがりました。他園の取り
組みを聞くことで新たな発
見があり、自分の指導のあ
り方を考える良い機会とな
りました。直接的な解決方
法が見つかったということ
ではなく、同じ立場の人た
ちと共感し合えたことが何
より有意義でした。

最後に、国分保育園の伊
藤園長先生が「主任の先生
は、園長先生からさまざま

なことを任せられ、大変だと
思います。その信頼に応え
ようと日々努力されている
のですが、周りにいる誰で
もいいので、その『しんど
い』『たいへん』という思
いを話してください。そう
することで協力者が現れる
と思います。一人で悩まず、
抱え込まずに、園長先生に
もぜひ相談してください」と
締めくくられ、たいへん



和気藹々とした雰囲気です

心強く思いました。

(高屋保育園K・Y)

明治にできた「紀元節」
は昭和23年、占領軍が廃止。
昭和41年に国民の祝日「建
国記念の日」となった。「建
国をしのび、国を愛する
心を養う」主旨で国旗を掲
げ政府による催事が行われ
ていたが、近年は聞かない
どこかの政党が反対し、
時の政府が国会運営を
優先した結果か。

私の若い頃、園児が
日の丸を描き、持ち
帰った時代もあった。
いつの間にか一億総評論家
の一人になって忘却してい
る次第を恥じる。

最近では、対応が難しい親に
驚きの連続だ！子どもの言
うまを鵜呑みにし、保育
者への不満、聞きかじった
話を膨らませて風評被害を
拡大する母親たち。こんな
親を誰が育てたのか？めっ
たに抜かない伝家の宝刀を



冬は鍋。棄てるところない鰯なのだが…

保育者支えるのは園長の大事な仕事

「コメカミに力入れてまで
やることはない」逆らえば
役所に電話、役所からは何
やかやの指示。現場の状況
に関係なくあれこれ言われ
る。一生懸命されている方
が大半だろうが、結局、保
育士のやる気を削いでしま

うことになる。
ある保育士は話が巧い！
我々も見倣いたいほどの方
がいるらしい。なら、研修
会の講師に招いては？参加
者がどつと集まるかも…。

冬は鍋の旬！カニ、鰯、
鮎、鰯…。鰯と言えは20
数年前、府外園長研修
会の当番の時、120
人・バス3台で能登・
加賀屋へ。鰯鍋を特注。
棄てるところなく、ほ
ぼ全部食べられる鰯。
白子が旨い。エラも食べら
れる。でも宴会が始まると
…アカン!! 板長の料理説明
もどこへやらで、だれも
聞いてへん！冬の鍋見て
思い出すガツカリの旬。風
邪引かんように気をつけて
春待ちまひよか。(H・N)

日本保育園保健協議会主催

「保育園における感染症対策」

啓発シンポジウム開催のお知らせ

日時 平成23年 2月12日(土)

会場 大阪国際会議場グランキューブ (1001、1002、1003号)

「感染症対策～そのコツと最新の知識～」をメインテーマに行われます。

○基調講演

- 「保育園における感染症対策・手引きから」 有益 修 (日本保育園保健協議会)
- 「保育園における感染症対策・現場から」 浜本 芳彦 (浜本小児科)

○シンポジウム

- 「ワクチンで防げない病気について」 川村 尚久 (大阪労災病院)
- 「ワクチンで防げる病気と予防接種」 藤岡 雅司 (ふじおか小児科)
- 「保育園におけるインフルエンザ対策」 宮川 広美 (大阪府立公衆衛生研究所)

※事前登録不要。参加費500円。

お問い合わせは 日本保育園保健協議会 事務局

(TEL:03-6912-1222 FAX:03-6912-1224)

ご興味のある方はぜひ、ご参加ください。(事務局)